

いしおか

市議会だより



第4回定例会

一般会計補正予算など

市長提出議案26件を可決

議員提出議案が可決

次回一般選挙から
議員定数が22人に

2～3ページ

一般質問
16人が登壇
議案質疑

4～9ページ

10ページ

常任委員会の活動

11ページ

請願・陳情の概要と結果

12ページ

第48号

ぎかい
広報紙

平成27年2月15日発行

議員定数削減へ 次回一般選挙から

議員定数(現行24人)が22人になります

11月25日から12月11日に開催した平成26年第4回定例会では、議員から「石岡市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて」が提出されました。また、専決処分した台風被害に伴う災害関連経費の補正予算や、「平成26年度石岡市一般会計補正予算」など追加議案も含め、市長から合計26件の議案が提出されました。

民の負託を受け活動する議会自ら社会情勢の変化に対応し、本市行政の一層の推進に期するため、議員定数を24人から22人に削減する、というものです。

討論では「議員定数を削減すれば、多様な市民の意見が市政に反映されにくくなる。費用弁償の廃止や政務活動費の削減も検討せず、やみくもに定数を削減すべきではない」などの反対の意見が出ましたが、表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

緊急性の高い事業に対応する経費、事業費の確定により財源の調整を行う必要がある経費等の予算が計上されました。

先議(※1)となった議案第90号は3690万円の増額で衆議院選挙関係の補正予算となります。

議案第77号は補正予算額1億8637万5000円を追加して、補正後の歳入歳出総額は296億4091万2000円となります(年度当初の予算額は289億円)。

歳出の主な内容として、総務費では、個人事業主に委託料などを支払う際に徴収漏れとなった源泉所得税等を納付するため出納事務費1809万1000円を増額するほか、市税等の過誤納還付金3298万8000円の増。民生費では、障害福祉サービスの利用者増加に伴う障害者自立支援給付事業8252万円の増、保育師等の処遇改善に伴う私立保育園に対する補助等による保育支援関係経費2673万2000円の増。土木費では、三村地区の天神橋架替えがJR東日本との協議により期間を変更することに伴う橋りょう整備改修負担金8500万円の減。市道の整備等に要する経費として合併市町村幹線道路緊急整備支援事業2189万4000円の増。そのほか、人事院勧告に伴う人件費補正4364万7000円の増などです。

議員18人の連名で提出された「石岡市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて」の提案理由は、昨今の厳しい財政状況と市内人口が減少している現状を鑑み、市

民の負託を受け活動する議会自ら社会情勢の変化に対応し、本市行政の一層の推進に期するため、議員定数を24人から22人に削減する、というものです。

討論では「議員定数を削減すれば、多様な市民の意見が市政に反映されにくくなる。費用弁償の廃止や政務活動費の削減も検討せず、やみくもに定数を削減すべきではない」などの反対の意見が出ましたが、表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

議案第77号は補正予算額1億8637万5000円を追加して、補正後の歳入歳出総額は296億4091万2000円となります(年度当初の予算額は289億円)。

歳出の主な内容として、総務費では、個人事業主に委託料などを支払う際に徴収漏れとなった源泉所得税等を納付するため出納事務費1809万1000円を増額するほか、市税等の過誤納還付金3298万8000円の増。民生費では、障害福祉サービスの利用者増加に伴う障害者自立支援給付事業8252万円の増、保育師等の処遇改善に伴う私立保育園に対する補助等による保育支援関係経費2673万2000円の増。土木費では、三村地区の天神橋架替えがJR東日本との協議により期間を変更することに伴う橋りょう整備改修負担金8500万円の減。市道の整備等に要する経費として合併市町村幹線道路緊急整備支援事業2189万4000円の増。そのほか、人事院勧告に伴う人件費補正4364万7000円の増などです。

平成25年度の各会計決算認定議案は、第3回定例会で決算特別委員会に審査付託されました。10月22日から24日の3日間に開催した決算特別委員会での審査を経て、第4回定例会の初日に、すべての議案が賛成多数又は全会一致で認定(原案可決及び認定)されました。

●議員定数の削減●

議員18人の連名で提出された「石岡市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて」の提案理由は、昨今の厳しい財政状況と市内人口が減少している現状を鑑み、市

この結果、次回の石岡市議会議員一般選挙から、議員定数が現行の24人から22人になります。

緊急性の高い事業に対応する経費、事業費の確定により財源の調整を行う必要がある経費等の予算が計上されました。

議案第77号は補正予算額1億8637万5000円を追加して、補正後の歳入歳出総額は296億4091万2000円となります(年度当初の予算額は289億円)。

歳出の主な内容として、総務費では、個人事業主に委託料などを支払う際に徴収漏れとなった源泉所得税等を納付するため出納事務費1809万1000円を増額するほか、市税等の過誤納還付金3298万8000円の増。民生費では、障害福祉サービスの利用者増加に伴う障害者自立支援給付事業8252万円の増、保育師等の処遇改善に伴う私立保育園に対する補助等による保育支援関係経費2673万2000円の増。土木費では、三村地区の天神橋架替えがJR東日本との協議により期間を変更することに伴う橋りょう整備改修負担金8500万円の減。市道の整備等に要する経費として合併市町村幹線道路緊急整備支援事業2189万4000円の増。そのほか、人事院勧告に伴う人件費補正4364万7000円の増などです。

●平成26年度の一般会計補正予算●

補正予算は、国・県の補助事業の変更に伴う経費、

緊急性の高い事業に対応する経費、事業費の確定により財源の調整を行う必要がある経費等の予算が計上されました。

議案第77号は補正予算額1億8637万5000円を追加して、補正後の歳入歳出総額は296億4091万2000円となります(年度当初の予算額は289億円)。

歳出の主な内容として、総務費では、個人事業主に委託料などを支払う際に徴収漏れとなった源泉所得税等を納付するため出納事務費1809万1000円を増額するほか、市税等の過誤納還付金3298万8000円の増。民生費では、障害福祉サービスの利用者増加に伴う障害者自立支援給付事業8252万円の増、保育師等の処遇改善に伴う私立保育園に対する補助等による保育支援関係経費2673万2000円の増。土木費では、三村地区の天神橋架替えがJR東日本との協議により期間を変更することに伴う橋りょう整備改修負担金8500万円の減。市道の整備等に要する経費として合併市町村幹線道路緊急整備支援事業2189万4000円の増。そのほか、人事院勧告に伴う人件費補正4364万7000円の増などです。

●石岡市協働のまちづくり条例●

議案第85号は、本市における協働のまちづくりを推進するための基本理念を定め、市及び市民等の役割並びに相互の関係を明

平成25年度の各会計決算認定議案は、第3回定例会で決算特別委員会に審査付託されました。10月22日から24日の3日間に開催した決算特別委員会での審査を経て、第4回定例会の初日に、すべての議案が賛成多数又は全会一致で認定(原案可決及び認定)されました。

山口晟議員が議員辞職

平成26年12月5日に山口晟議員から茨城県議会議員一般選挙の立候補の届出があったため、公職選挙法第90条の規定により辞職となりました。これにより、石岡市議会の議員数は21名となります。

山口晟氏は昭和15年生まれ。平成7年の旧石岡市議会議員選挙で初当選し、都市建設委員会副委員長等を歴任されました。

【お知らせ】

●議員辞職による欠員に伴い、新たに次の各議員が一部事務組合の議員となりました。

湖北環境衛生組合議会議員

関口 忠男

石岡地方斎場組合議会議員

岡野 孝雄

※1 通常、議案は予定された採決日や閉会日に議決するが、その日を待たずに会期の途中で議決すること

議案の内容は、石岡市議会ホームページで詳しく確認できます。

石岡市議会を検索するか、次のURLを直接入力してください。 <http://www.ishioka-shigikai.jp/>

石岡市議会



議案の審議結果

第4回 定例会 ※第4回定例会（11月25日～12月11日）で審議した議案の結果は、次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
議案第54号	平成25年度石岡市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第55号	平成25年度石岡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第56号	平成25年度石岡市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第57号	平成25年度石岡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第58号	平成25年度石岡市駐車場特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第59号	平成25年度石岡市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第60号	平成25年度石岡市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第61号	平成25年度石岡市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第62号	平成25年度石岡市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第63号	平成25年度石岡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第64号	平成25年度石岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
議案第75号	専決処分に對し承認を求めることについて（平成26年度石岡市一般会計補正予算（第3号））	承 認
議案第76号	専決処分に對し承認を求めることについて（平成26年度石岡市水道事業会計補正予算（第2号））	承 認
議案第77号	平成26年度石岡市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第78号	平成26年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第79号	平成26年度石岡市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第80号	平成26年度石岡市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第81号	平成26年度石岡市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第82号	平成26年度石岡市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第83号	平成26年度石岡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第84号	平成26年度石岡市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第85号	石岡市協働のまちづくり条例を制定することについて	原案可決
議案第86号	石岡市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第87号	石岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第88号	指定管理者の指定について（石岡市体験型観光施設朝日里山学校）	原案可決
議案第89号	市道の認定について	原案可決
議案第90号	平成26年度石岡市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第91号	損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解について	原案可決
議案第92号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（山口美保子氏）	同 意
議案第93号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（梁浦雄二氏）	同 意
議案第94号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（鈴木寛氏）	同 意
議案第95号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（宮本俊一氏）	同 意
議案第96号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（杉山匡氏）	同 意
議案第97号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（齋藤誠氏）	同 意
議案第98号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて（高野和子氏）	同 意
諮問第 2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（村上朝雄氏）	適 任
諮問第 3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（井坂まち子氏）	適 任
議員提出議案第2号	石岡市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決

※議案第54号～64号は平成26年第3回定例会に提出され、継続審査となっていた決算認定議案です。

恋瀬川氾濫による災害対策

台風18号の教訓と今後の災害対策



おか の たか お 岡 野 孝 男

問 台風18号による人的被害は幸いにもありませんでしたが、車が水没し動けなくなるといった状況がありました。今回のように恋瀬川が氾濫した場合、八郷総合支所に指揮命令系統を整える必要があったのではないかと。今後の職員配置と応援体制を伺います。また、恋瀬川でよく冠水する箇所の対策をどのようにお考えか伺います。防災無線では土砂災害警戒情報の放送はありましたが、冠水による通行止めの放送はありませんでした。放送されていれば車が水没する事態を防げたかもしれません。防災行政無線の活用方法に問題はなかったのでしょうか。

答 八郷総合支所の指揮命令系統は、震度5弱以上の地震が発生した際に支所災害対策班を設置すると災害時職員初動マニュアルにあります。風水害に対する具体的な位置付けはありませんでした。今後、支所災害対策班の役割を明確にし、マニュアルを整備してまいります。冠水対策は、恋瀬川の川底の土砂のしゅんせつや、堤防の整備促進を県に強く要望してまいります。また、道路の通行止めはメールマガジン等での情報共有だけでなく、防災行政無線の活用はいたしませんでした。今後は、被害を未然に防止するため、防災行政無線を活用し適切な情報の周知ができるよう、運用方法を検討いたします。

その他の質問事項
●介護保険事業 ●国指定史跡佐久良東雄生家の環境整備 ●「瓦塚」の国指定史跡化

茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会の会場とイベント広場の総合的な活用

大会の市内開催に向けて



ひろ まつ ち ひろ 徳 増 千 尋

茨城県消防ポンプ操法競技大会の県南北部地区大会は5年に一度、石岡市も事務局を受けなければなりません。前回石岡市が事務局になったときは、つくば市の会場を借りました。消防団の方々が日々努力されているにも関わらず、市のバックアップ体制ができていないと感じます。長さ100メートルのアスファルトを2本引けば、大会が開けるとのことです。大会が開ければ経済的な効果もあると思います。そこで、イベント広場に

道を作り、また、総合的なイベントができる会場として整備するお考えがあるか伺います。

答 茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会は5市で構成されています。平成25年度に当市が事務局であった際は、市内で会場の基準に合う場所を調査しましたが、会場の確保ができず、つくば市の会場を借用して開催しました。次回、当市が事務局となる平成30年度も現状のままであれば、つくば市の会場を借用して開催することになるかと考えますが、やはり自分の場所で行いたいのが本音です。イベント広場は、面積や立地など大勢の人が集まる条件が整っていますので、消防の件も含め、さらに有効活用するよう検討してまいります。

その他の質問事項
●空き家対策

台風によるがけ崩れ被害が起きた総社二丁目の急傾斜地崩壊対策

土砂災害対策の今後の見通しは



まさ とよ まつ 小 松 豊 正

問 台風18号により、土砂災害特別警戒区域に指定されている総社二丁目の急傾斜地が崩れ、その下の家屋の庭先まで大量の土砂が押し寄せ、さらには市道にまで流出しました。都市建設部が立木の伐採、流出土砂の撤去、土のう設置など緊急対応をしましたが、応急処置の範囲に止まっています。今後の対策の見通しを伺います。また、実際に現地に行くといかに大変かがわかります。市長は、今回の災害に際し、市内各地の現状を視察し、住民からも話を聞いたとのことですが、総社二丁目は見ているのでしょうか。

答 崖崩れが起きた総社二丁目の対応ですが、再び土砂が流出し周辺の道路に影響を及ぼすおそれがあるため、二次災害防止の対策を行いました。緊急時には、まず応急的な処置を行い、その後抜本的な事業に取り組むことになりました。崖崩れが発生した場所には、県指定の土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域になっており、急傾斜地崩壊対策事業という県事業として取り組めるよう、県へ強く要望してまいります。また、災害の翌朝に大変危険な状態であることを現地で確認してまいりました。その後についても、被害を受けた方々にお話を聞いてまいります。

その他の質問事項
●生産者米価暴落による石岡市経済への影響と対策 ●介護保険改定と高齢者支援 ●ごみ処理施設広域化 など

龍神の森キャンプ場

指定管理者制度を導入しては



お 男 だ 忠 口 関 せき

問 龍神の森キャンプ場は、平成25年度決算では収入が11万円、経費は200万円ということでしたが、大きな施設で年間2000人の利用、収入が11万円というのは少し寂しい数字だと思いませんか。教育委員会が管理しており、その目的が青少年健全育成のための施設だということも理解はしていますが、石岡市の財産としてもう少し有効に使うべきではないでしょうか。現在23施設が指定管理者を指定して運営しています。龍神の森キャンプ場も指定管理者制度（※2）を導入すべきだと思いますが、どのようにお考えか伺います。

答 キャンプ場の利用者は、平成18年度の供用開始時で年間1000人余り、平成25年度で年間2000人弱と、8年間でおよそ2倍になっています。また、利用者の内訳ですが、使用料が減免される社会教育関連の利用者や日帰りのバーベキューサイト利用者が大半を占めています。これまで市報やホームページ等で周知を行ってきましたが、利用実績には結びついていません。広報の見直しやキャンプ場でのイベント開催など、認知度を上げられるよう努めてまいります。ご指摘の指定管理者制度の導入も改善策のひとつと考えますが、市民が利用しやすいキャンプ場のあり方と施設の有効利用に向けた抜本的な見直しを図るため、来年度中を目途として改善策をまとめたたいと考えています。

ふるさとづくり寄附金の現状と今後の取組

新たな財源としての期待



い ち 重 市 谷 しげ つか 塚

問 最近、石岡市へのふるさとづくり寄附金の申込みが増えており、県内だけでなく全国的に上位であります。日本全国から申込みがあるということは、全国各地に石岡市の特産品が送られますので、生産者にとっても、石岡市のPRとしても効果的だと思います。また、まちづくりのため

今後、ふるさとづくり寄附金にどのように取り組まれるのか、伺います。

答 平成25年度に制度の見直しを図り、記念品の種類と数を増やして寄附者が自ら選べるカタログを作成しました。また、ふるさと納税の人気サイトにリンクされ、寄附が急増したところです。今年度は記念品の品数を59品目にまで増やし寄附の受入れを行っており、2億円を超える寄附金収入が見込まれます。今後は、石岡に来てもらえるような体験メニュー等も加えたいと考えています。ふるさとづくり寄附金は、当市の特産品などの情報を全国に発信できる有効なマネジメントツールでもありますので、寄附された方との繋がりを大切に、増加のための取組を行ってまいります。

その他の質問事項

●石岡市の農業振興

給食センター民営化

民営化の進捗状況と所管部署



ひ 久 延 のぶ べ 磯 いそ

問 平成26年第1回定例会での一般質問で、給食センター民営化を実施するという決意ある答弁がありました。市長は、スピード感を持ってふるさと再生を実現させ、市民生活の福祉向上を図ると所信を述べていますので、一定の方向性を示した事業に対しては、迅速に対応して頂きたい。しかし、安易に取り組むとリスクを背負いかねませんので、基本的理念を確立すべきと思いますが、現在の給食センター民営化の進捗状況を伺います。また、行財政改革の一環とも捉えられる民営化に向けての所管部署はどこなのか、民営化業務は専属で行うのか伺います。

答 進捗状況ですが、調理業務を民間委託で実施している給食センターを視察し、民間委託のメリットやデメリット、委託に向けたスケジュールや業者選定方法等について研究してきました。八郷給食センターの調理業務部分の民間委託について、次年度事業計画への位置付けを関係部署と協議しているところです。また、所管部署は、学校給食業務を所管する学校給食課で進めることが適当と考えます。学校給食課長を責任者とし、八郷給食センター所長、係長、栄養士を担当として、必要に応じ課全体でフォローをしながら、現在行っている業務と兼務し、民営化に向けた業務も行うこととなります。

その他の質問事項

●行財政改革大綱策定
●一般質問への対応

道路行政

合併特例債による整備路線



あきらは 昭

せき 関

問 合併特例債による整備路線である貝地・高浜線、上林・上曽線、駅前・東ノ辻線の3路線は、計画期間である平成27年度までに完了する見込みがあるのか伺います。合併特例債は期間延長の話がありますが、延長した特例債をこの道路整備に回せないのでしょうか。将来の様々な整備計画において合併特例債の占める割合は大きいので、早急に決めて頂きたい。また、石岡市は狭い道路状況が良いとはいえないと思います。生活道路をしっかりと整備して頂きたいと思いますが、道路整備の優先順位を伺います。

答 合併特例債による整備路線の事業費ベースの進捗率は、貝地・高浜線が43・4%、村上・六軒線が46・1%、上林・上曽線が55・6%、美野里・八郷線が90・5%、駅前・東ノ辻線が42・4%です。各路線とも用地取得が最大の課題であり、平成27年度内の完成は難しいと考えています。また、東日本大震災で被害を受けた合併市町村は合併特例債の10年延長が可能となりましたが、財政推計をきちんとした上で想定される事業に充当していくことが大切であり、慎重に見直しを図ってまいります。なお、道路整備の優先順位ですが、緊急性や重要性等を勘案し箇所選定を行っております。

●その他の質問事項
高齢者肺炎球菌予防接種の助成

石岡市が所有する大規模遊休地の現状と展望、あわせて八郷総合支所の空スペースの活用

未利用地の有効活用をすべき



や す し た に が ち 川 谷

問 加速するインフラの老朽化に対し、新しく造ることから賢く使うことへ重点化を図るため、国から公共施設等総合管理計画の策定の要請がありました。石岡市も現在準備を進めているとのことですが、進捗状況はどのようなになっているか、伺います。また、市が所有する17万3500平米の未利用地ですが、維持管理費用が発生するだけでは市民のためになりません。市内にある1万平米以上の遊休地は、イベント広場、石岡駅東側、小幡地内製

茶工場跡地、有明中学校跡地の4か所ありますが、それぞれの状況と今後の利活用の見通しを伺います。

答 現在、複合文化施設の建設が凍結されているイベント広場は、北側を催事等へ貸し出し、南側を駐車場として管理しています。石岡駅東側の旧鹿島鉄道跡地は、まちなか居住の事業用地として石岡駅周辺整備事業で段階的に整備を進めます。寄附された小幡地内の製茶工場跡地は、急傾斜地等の理由で現在活用には至っていません。有明中学校跡地は、同好会がグラウンドと体育館を定期的に利用しています。これら大規模遊休地は、策定を予定している公共施設再配置計画など、有効活用を図るための調査研究を進め、早期に方針を示してまいります。

●その他の質問事項
市最大の観光イベントとしての石岡のおまつり

障がい者就労支援

障がい者の社会参加が容易な社会を



た ま づ くり よ し み 玉 造 由 美

問 石岡市では、障がい者就労支援として、積極的に障がい者の雇用促進に力を入れていると思いますが、現状はどのような状況になっているか伺います。また、障がい者就労の機会を増やし自立を促進することを目的とした、障害者優先調達推進法が平成25年4月から施行され、自立支援や賃金アップへの期待が高まっています。障がい者の社会参加が容易になり、生きがいを持って生活することができるよう、市民の理解をさらに深めることができる、そのような社会の創出を考えていきたいと思いますが、どのようにお考えか伺います。

答 本年10月現在の障がい者就労支援の利用者数は、企業等での就労を希望する方を対象とする就労移行支援事業が30人、雇用契約を結び、就労や生産活動の機会を提供する就労継続支援事業A型が8人、雇用契約は結ばないが、就労や生産活動の機会を提供する就労継続支援事業B型が68人です。また、平成25年度に各就労支援事業から一般企業へ11人が就労しています。障がいのある方が自立した生活を送るため、就労により経済的基盤を確立することとは大変重要だと思っています。今後、障がい者の就労の機会拡大に繋げ、障害者優先調達推進法に基づいた物品調達の推進を図ってまいります。

●その他の質問事項
難聴児支援

福祉行政

地域密着型事業所の有効活用



むら かし やす みち
村 上 泰 道

問 地域密着型事業所は石岡市に住民票を有する方が利用できるサービスですが、現在の状況を伺います。また、特定入所者介護サービス費は、特別養護老人ホームやショートステイなどを利用されている方々に対する介護施設利用の際の食費、居住費の減免制度ですが、地域密着型事業所には適用されません。特養の入所待ちをされている方々は、本人の利用負担が減免される補助制度が利用できるからというのも大きな要因です。そこで、地域密着型事業所への支援を独自に行うことで、資源の有効活用を図ってはどうかと思いますが、お考えを伺います。

答 市内の地域密着型事業所の状況ですが、平成26年10月1日現在、グループホームは9か所、定員180人に対し入所者170人、入所率94%。小規模特養は2か所、定員49人に対し入所者は46人、入所率93%。いわゆる小規模多機能型居宅介護施設は6か所、登録定員150人に対し登録者数は126人、登録率84%です。地域密着型サービスは高齢者が可能な限り住みながら地域で生活するために、大変重要なサービスです。その特徴を十分に生かし、より身近で地域に根差したサービスが提供できるように検討してまいります。

その他の質問事項

●タクシー補助制度 ●筑波山地域ジオパーク推進協議会 ●常磐線品川乗り入れ後の戦略

石岡市都市計画区域内の市街化調整区域における区域指定

若い人が家を建てやすい環境づくりを



おの たか お
岡 野 孝 雄

問 平成22年10月から導入された区域指定は、都市計画法第34条第11号及び第12号の規定に基づき、市街化調整区域内のあらかじめ指定した区域において、既存集落の維持・保全を目的に、誰でも住宅や一定の小規模の店舗や事業所の立地を許可するという制度です。11

号区域とは市街化区域から1キロ未満、12号区域とは市街化区域から1キロ以上離れた区域であり、市街化調整区域内の既存集落を対象に、11号区域と12号区域にそれぞれ6地

区、計12地区が指定されていますが、これまでの区域内での許可件数を伺います。また、若い人が家を建てようとしても、調整区域でなかなか建てられない。だから石岡から離れて他に建てるという現状があります。そこで、市街化区域から1キロ以内の11号区域を見直せば、若い人が家を建て、人口減対策にもなると思いますが、どのようにお考えを伺います。

答 市内には12の区域指定地区がありますが、区域指定をした平成22年度以降、11号区域では自己用住宅35件、共同住宅10件の計45件、12号区域では自己用住宅5件が建てられております。店舗はございません。今回のご提案は大変前向きなものと思いますが、現在、区域指定の追加に向けて調査を実施している状況ですので、その調査結果を踏まえながら、今後検討してまいります。

台風18号の豪雨被害と防災対策

防災力の向上に努めるべき



むら たか ゆき
村 孝 行

問 台風18号の被害状況と対応した職員数、開設した避難所の状況を伺います。また、東日本大震災以降、国は自然災害が想定される地域等を指定しハザードマップの整備を進めてきましたが、石岡市が作成した洪水ハザードマップと土砂災害ハザードマップはどのように利用され、効果を発揮したのか伺います。今回の豪雨で恋瀬川が氾濫して幹線道路が水没し、交通が長時間遮断されました。人的被害にも繋がりがねませんので、水位が増加した際の自動赤色灯の設置を検討してはどうかと思いますが、お考えを伺います。

答 下川橋付近や光安寺橋付近、朝日峠などで多数の通行止め、林道や市道の法面崩落、床上7棟、床下42棟の浸水被害などがありました。開設した避難所は市内18か所、合計24名が一時避難されました。災害対応にあたった職員は、市の職員、消防職員、消防団員合計で569名です。洪水ハザードマップは全戸に、土砂災害ハザードマップは災害発生危険区域周辺の世帯等に配布し、地域防災訓練などで活用しています。なお、恋瀬川は国や県の浸水想定区域の指定対象外です。下川橋には県のシステムと連動した水位計があり、回転灯が設置できないか、県に対して要望してまいります。

その他の質問事項

●来年度迎える合併10周年

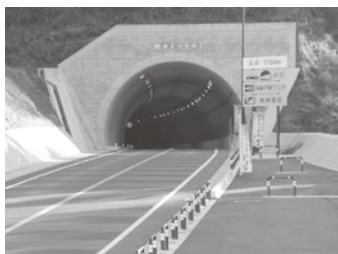
朝日トンネルの路線

なぜ路線が変更されたのか



すずき よね ぞう
鈴木 米 造

問 朝日トンネルができたことは本当に良いことだと思います。しかし、まっすぐに作るべき道がカーブしていたりして、雪が降ったときにトンネルを出て危なく事故を起こすところだったということも聞いています。用地買収にかかった1億6000万円ですが、鑑定者の見積りはどれくらいだったのか。また、県が一度地元の人と話し合いをしたのに、その後どういう訳で路線を変更したのか。これは、できなかったものだから仕方ないという問題ではないと思います。皆さんが不思議に思っていることは、市も調査するべきだと思います。



▲供用開始されている朝日トンネル

●その他の質問事項
産業廃棄物の違反



おお つか かつ お
大 槻 勝 男

問 まちづくりを進めるに当たっては、行政と市民の信頼関係が大切であり、市民からの問い合わせや相談、苦情に対して迅速、誠実、正確に対応することが職員として求められます。市営住宅池の台団地の駐車場造成工事の進捗状況を担当課に電話で確認したところ、全く知らないと言われたとの声が市民からありました。事前に議会に説明しており、組織内での情報共有ができていれば、このような問題は起こらないはずだと思います。職員の市

職員の市民への対応

組織内での情報共有をすべき

したところ、全く知らないと言われたとの声が市民からありました。事前に議会に説明しており、組織内での情報共有ができていれば、このような問題は起こらないはずだと思います。職員の市

民対応の向上のため、どのような取組が行われているのか、伺います。

答 職員の市民に対する窓口や電話対応の基本として、接遇が挙げられます。接遇は、公務員だけでなく社会人としての基本でもあることから、当市では職員の新規採用時の研修科目に市内講師による接遇研修と外部講師によるビジネスマナー研修を設け、研修を実施しています。また、各部署では上司や先輩職員などから、OJT（※3）による職場研修が行われております。説明責任という観点からも報告、連絡、相談のいわゆる報連相は業務をスムーズに進めるために欠かせないものです。職員間だけではなく、市民に対する報連相も重要ですので、今後、職員間で意識の共有を図っていきたいと考えています。



いけ だ まさ ふみ
池 田 正 文

本市のまちづくり
参与の市政への関わり方

問 石岡市の参与は、新聞紙上で、行政がすべてをやる時代ではないとした上で、様々な施策を言っています。この掲載内容は市でチェックしたのか伺います。民間手法の導入は進めるべきだと思いますが、守るべきルールというものがあると思います。参与は、市の非常勤特別職であるとともに民間のコンサルタントでもあります。どちらの身分が優先されるのか。また、守秘義務は具体的にどのようなになっているのか。さらに、今後議会に対する説明員として参与を指定するお考えがあるのか、伺います。

答 新聞記事の内容の事前チェックはしませんでした。あくまでも一記者がまとめたインタビュー記事であり、それを超えるものではないと考えています。内容は参与の湧き出るイメージネーションが感じられ、実現可能な提案にどう取り組んでいくか、よく吟味したいと思います。参与は民間での職責も非常勤特別職という職責も担っています。どちらが優先されるということではなく、担当部署で出勤日の調整を行っています。また、守秘義務は規則中に定め、取得した情報の外部漏えいがないように制限しています。説明員としての出席は、議会のルールに従い判断したいと思っています。

※3 オン・ザ・ジョブトレーニングの略称。日常業務を通じた職員教育のこと

※4 給水する水量と料金として収入のあった水量との比率

問 水道施設の老朽化が進み大規模な更新が必要となる中、安心安全な水の供給や、災害時でも安定的な給水を行うための施設水準の向上などの取組が求められます。そこで、安心安全で安定的な水の供給を図るために必要な管路の整備状況と漏水調査事業、老朽施設更新事業、水道ビジョンの策定状況を伺います。また、湖北水道企業団と三村簡易水道の統合が進められていますが、八郷地域の水道も統合に向けた協議がされています。計画的に事業を進めていく必要がありますが、進捗状況と財源確保に向けた対策を伺います。



ひし ぬま かず ゆき
菱 沼 和 幸

安心・安全な水道行政
水はライフライン、計画的に対応すべき

答 八郷地区の管路整備として、本年度から3年計画でゆりの郷周辺から国民宿舎つくばねまでの布設替えと増圧ポンプ設置等の整備を進めます。また、定期的な漏水調査により有収率(※4)は改善傾向にありますが、老朽施設の更新には多額の財源が必要のため計画的な更新を図ります。八郷地域における水道事業ビジョンは未策定ですが、湖北水道企業団との統合に向けてのプロセスが一定の方向でまとまった段階で検討に入りたいと考えています。具体的な統合時期は今後も協議が必要ですが、統合問題も含め優先順位をつけて計画的に対処してまいります。

その他の質問事項

- 平成26年度石岡ふるさと再生プロジェクトの進捗状況と課題や問題点等
- 都市建設行政
- 防災行政 など

平成27年

第1回定例会のお知らせ

第1回定例会は、この日程で開催する予定です。なお、放映の欄に「有」と記載されている会議は、仮設庁舎本館2階ロビー、八郷総合支所1階ロビー、まちかど情報センターで中継をご覧頂けます。



月 日	曜	主 な 内 容	場 所	放映
2月24日	火	議案の提案理由説明など	本会議場	有
3月 2日	月	一般質問	//	//
3日	火	一般質問	//	//
4日	水	一般質問	//	//
5日	木	議案質疑	//	//
6日	金	予算特別委員会	//	//
9日	月	予算特別委員会	//	//
10日	火	予算特別委員会	//	//
11日	水	予算特別委員会	//	//
12日	木	予算特別委員会	//	//
13日	金	常任委員会	委員会室	無
16日	月	常任委員会	//	//
17日	火	特別委員会	//	//
18日	水	議会運営委員会	全員協議会室	//
19日	木	議案の採決など	本会議場	有

》》》》議会を傍聴してみませんか《《《《

石岡市議会では、本会議と各常任委員会を一般公開しており、どなたでも議会の傍聴ができます。傍聴をご希望の方は、石岡市議会ホームページ、又は、議会広報紙等に掲載される会議案内にて日程をご確認のうえ、本会議は八郷総合支所4階議場の「傍聴席入口」まで、各常任委員会は八郷総合支所4階の「議会事務局」までおいでください。なお、傍聴は先着順となります。



写真：傍聴席

石岡市議会では いつでも「請願」「陳情」の受付をしています

提出時期について

請願・陳情は、議会事務局で受付をしています。ただし、受理後の直近の定例会で審査できるのは、原則として定例会開会日の約2週間前に開かれる議会運営委員会の2日前(土日祝日含まず)午後3時までに提出された分となりますので、議会運営委員会後に提出された分については、結論が出るのは次の定例会以降となります。

書式について

請願・陳情には、特に書式等の決まりはありません。請願・陳情の要旨を簡潔に書いてください。ただし、提出される方が個人の場合は署名(自筆で名前を書くこと)又は記名(印刷機器等を用いて名前を記すこと)・押印、住所の記載が必要となり、法人の場合は、記名・押印及び住所の記載が必要になります。請願の場合はさらに、紹介する石岡市議会議員の署名又は記名・押印が必要になります。

●議案第75号 一般会計補正予算（第3号）

専決処分に対し承認を求めること

関 照

問 ① 地方自治法では、二元代表制における市長の専決処分を厳しく制限しており、第179条に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がない場合などに専決処分を行うことができることと定められています。今回の議案は10月6日の台風の災害復旧に関するもので、専決処分までに10日を要しており、議会を招集する時間がなかったのか疑問に感じます。専決処分の考え方を伺います。

答 ② 歳入の繰越金は、25年度の余剰金約10億円から充当したと思われますが、この余剰金は何らかの会計処理を明確にするべきではないでしょうか。

答 ① 今回は被害額が多額で既定予算や予備費での対応が不可能であり、かつ、早急に対応すべきでしたので、議会を開くいとまがないという判断で専決処分しました。また、二次災害の危険性から現場に入らず、予算の見積りに日数を要したため、専決処分の日が10月16日となりました。専決処分は政治的な判断が問われるため、慎重かつ適切な判断で行うべきと認識しています。

② 専決処分や補正予算へ充当した繰越金の残金は今後も補正予算としての活用を考えています。また、当初予算編成時に財源が不足し、財政調整基金と減債基金（※5）を取崩した繰入金を予算化していますが、繰越金が確定した段階で、基金の取崩しをせずに予算執行の完了を行うのもひとつの方法と考えます。

●議案第77号 一般会計補正予算（第5号）

道路橋りょう費の補正内容

小松 豊正

問 ① 道路橋りょう費8025万4000円減額の内容を伺います。

② 橋りょう新設改良事業の継続費補正の内容を伺います。

③ 橋りょう整備事業の地方債補正の内容を伺います。

答 ① 道路橋りょう費8025万4000円減額の内容は、総計で8025万4000円を減額補正する内容です。

② 天神橋の整備改修のための継続事業費で、当初平成26年度から27年度までの2年の事業を計画していました。しかし、電力を供給する架線が工事に影響を及ぼすことが判明したため、JR東日本と協議し事業期間を1年延長することになったことから、平成28年度までの継続費に変更する内容であり、総額に変更はありません。

③ 天神橋整備改修の事業期間延長に伴い、本年度事業予算が当初の1億円から1500万円に減額となることから、事業財源である地方債も4050万円から600万円に減額補正する内容です。

●議案第85号 石岡市協働のまちづくり条例

推進委員会委員の活動内容

徳増 千尋

問 条文中には「協働によるまちづくりの推進に関する事項を調査、審議するため」推進委員会を置くとしています。協働によるまちづくりを推進していくためには、推進委員会は調査、審議するだけでなく、委員自らが市民に浸透させる行動をしていくなど、もう少し先のアクションが必要だと考えます。そこで、推進委員会の委員の活動内容を伺います。

答 推進委員会は、石岡市で進める協働によるまちづくりに関し、より市民が参加しやすい環境づくりの拡充や施策等、市民目線で検討頂くことを目的としています。それによって、市民公益活動が活発化し、市民と行政等による協働のまちづくりの推進につながると考えています。本来、協働とは地域のために地域からの恩恵を全員で受けることであり、市民、行政、各種団体等すべての人々がまちづくりの主体として考えて行動していくことが、協働のまちづくりであると思います。したがって、推進委員会の活動には、自ら発案して行動することも含まれると考えます。



※5 財政調整基金：年度間の財源不足に対応するため、財源に余裕がある年度に積み立てる地方公共団体の貯金
減債基金：市債の償還に備え、償還に必要な資金を積んでおくもの

常任委員会の活動

●石岡市議会には、4つの常任委員会が置かれています。委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、それぞれが、市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。ここでは、各委員会の活動内容をご報告します。

●総務委員会

行財政改革大綱

12月8日に開催した当委員会では、一般会計補正予算や職員の給与に関する条例の一部改正の議案など付託された議案3件の審査を行い、すべて承認・原案可決すべきものと決しました。

そのほか、年度内の策定を予定している行財政改革大綱を執行部から説明を受けました。市民等で構成する行財政改革懇談会に行財政改革大綱の素案を示したところ「アンケート等の実施により市民の声を吸い上げ、市政に反映させて欲しい」等の意見が出され、今後これらの意見を協議した上でパブリックコメント

を実施していくとのこと。委員から「行政情報を十分に周知した上で意見を聴取すべき」、「行財政改革の内容やその意気込みをどう市民に伝えていくのか、広報の仕方を十分に検討して欲しい」との意見が出されました。

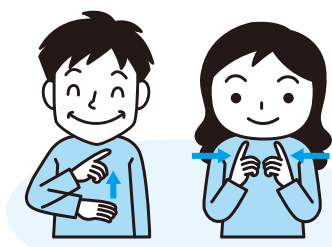
●教育福祉委員会

請願の審査

12月5日の当委員会では、一般会計補正予算など議案4件の審査を行い、すべて承認・原案可決すべきものと決しました。

そのほか、「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願」の審査を行いました。内容

は、手話が音声言語と対等な言語であることを広め、聞こえない子どもが手話を身に付け、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として、普及・研究できる環境整備を目的とした法の制定を求める意見書を国へ提出して欲しいというものです。当市で行っている手話に関する取組状況について執行部から説明を受け、委員から



「障がい者に対して、手を差し伸べている社会です。内容からも、これまでもこのようなことがなかったのかという印象を受けました」などの意見がありました。委員全員が法制定の必要性を感じ、意見書を国に提出することの願意が妥当であるとの認識に至ったことから、採択とすべきものと決しました。

●環境経済委員会

陳情の審査

12月5日の当委員会では、石岡市協働のまちづくり条例を制定することについてなど付託された議案9件の審査を行い、すべて承認・原案可決すべきものと決しました。

そのほか、「政府による緊急の過剰米処理を求める陳情」の審査を行いました。陳情の内容は、2014年産米の全国的な価格の大暴落が強く懸念されており、さらに今年から経営所得安定対策の半減や米価変動補てん

交付金も事実上廃止されたもとで、米価がさらに暴落するなら、担い手層の経営への打撃は計り知れず、政府の責任で過剰米処理を緊急に行うよう国に意見書を提出して欲しいというものです。委員から「現在、農業者を取り巻く状況は非常に厳しく、後継者不足や耕作放棄地の問題もあり、積極的な農業政策が必要であることから願意は妥当」などの意見があり、審査の結果、採択とすべきものと決しました。

●都市建設委員会

事業進捗状況への質問

12月8日の当委員会では、一般会計補正予算など付託された6件の議案の審査を行い、すべて承認・原案可決すべきものと決しました。

執行部からの平成26年度の事業進捗状況の説明受け、委員から「市営寺田住宅の解体工事が実施されたが、現在契約して

いる方が引っ越したり、亡くなったりすると、世帯の子や孫に引き継いで借りていくことはできるのか」との質問に対し執行部から「木造の住宅で大変古いため、出て頂いた後の再入居はございません。夫婦間の継承はできませんが、親子間ではできませんので、若干の余裕をもって引越して頂いています。世帯の状況によっては、市営住宅の別の場所を紹介するなど、その方の事情により個別相談をしながら進めています」との答弁がありました。



▲駅舎の工事進捗状況を確認

請願&陳情

平成26年第4回定例会で議題とした請願・陳情

請 願 の 内 容	付託委員会	審議結果
手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願 【請願の要旨】手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法」制定を求める意見書を国に提出していただきたい。 【委員長報告の要旨】「障がい者に対して、手を差し伸べている社会です。法の制定を求める請願の趣旨は、願意 妥当であると思います」との意見がありました。 【委員会での審査結果】採択	教育福祉委員会	採 択
陳 情 の 内 容	付託委員会	審議結果
政府による緊急の過剰米処理を求める陳情 【陳情の要旨】2014年産米は全国的な価格の大暴落が強く懸念されます。生産費を大幅に下回っている米価がさらに暴落するなら、再生産が根底から脅かされることになります。主食の米の需給と価格の安定をはかるのは政府の重要な役割です。政府に対して、緊急に過剰米処理を行うよう意見書を提出していただきたい。 【委員長報告の要旨】「農業を取り巻く状況は非常に厳しく、後継者不足や耕作放棄地の問題もあり、積極的な農業政策が必要であることから願意は妥当」、「国では米の過剰を減らすために、主食用米から飼料米への転換を進めているが、効果的とは言い難く対策としては不十分。人口が減少する中、米余りによる米価下落を防ぐためにも願意は妥当」などの意見がありました。 【委員会での審査結果】採択	環境経済委員会	採 択
石岡市議会議員の定数を減ずる陳情 【陳情の要旨】本市は人口減少が顕著であり、今後もその傾向が続くものと予想されます。人口が減ると税収は減少し、国からの交付税も減額となり、市の財政も厳しい状況になります。しかも、少子高齢社会により社会保障費は年々増える一方です。次回の石岡市議会議員選挙の定数を2名減員されますよう陳情申し上げます。	—	み な し 採 択

※審議結果の欄は、付託委員会での審査結果報告を受けて本会議で表決をし、議会としての意思決定をした結果です。

第4回定例会で可決し、関係機関へ送付した意見書は次のとおりです。

■ 意 見 書 名	■ 送 付 先
「手話言語法」制定を求める意見書	内閣総理大臣
政府による緊急の過剰米処理を求める意見書	内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長
軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣

意見書

市議会ホームページアドレスとメールアドレスが変わりました

ホームページアドレス	メールアドレス
(旧) http://www8.ocn.ne.jp/~ishioka/	(旧) ishikashigikai@muse.ocn.ne.jp
(新) http://www.ishioka-shigikai.jp/	(新) gikai@city.ishioka.lg.jp

※お手数ですが、登録されている方はリンクやお気に入りの変更をお願いします。なお、旧アドレスにアクセスされた場合、自動的に新アドレスのトップページに転送されますので、ご了承ください。

ご意見・ご感想

市議会だよりに関するご意見・ご感想や市議会へのご意見・ご要望をお受けしていますので、石岡市議会事務局までお寄せください。

あて先・お問い合わせ

石岡市議会事務局

〒315-0195 茨城県石岡市柿岡5680-1

Tel.0299-43-1111

E-mail: gikai@city.ishioka.lg.jp

インターネットで会議録検索

石岡市議会



<http://www.ishioka-shigikai.jp/>

石岡市議会のホームページから、本会議や常任委員会等の会議録を読むことができます。

本会議の会議録は、合併した平成17年10月以降、また、平成3年から平成17年までの旧石岡市議会の会議録を掲載しています。石岡市議会ホームページの「会議録検索」から、発言者などの単語検索がご利用いただけます。

